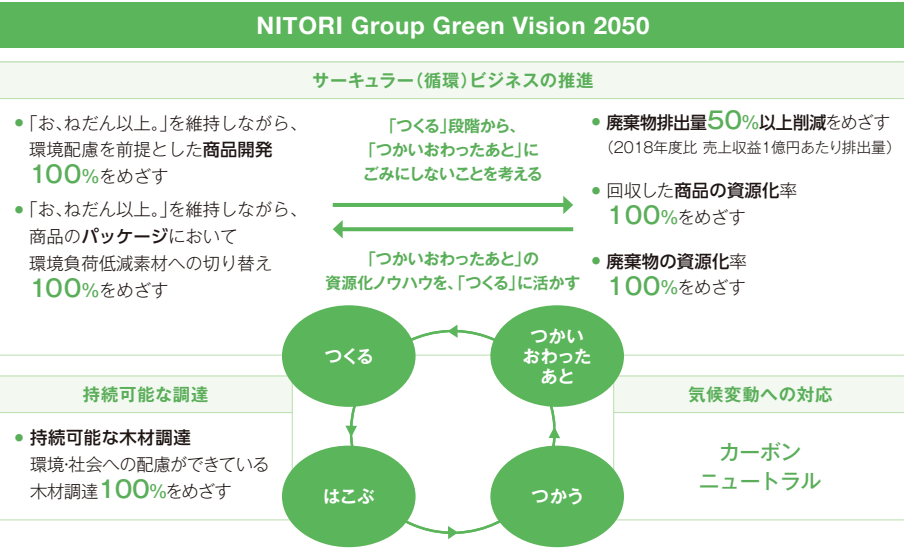


NITORI Group Green Vision 2050

「NITORI Group Green Vision 2050」は、7つの重要課題（マテリアリティ）の実現のためにグループ独自の循環型ビジネスモデルを最大限活かし、環境への配慮及び持続可能な「暮らしの豊かさ」の実現に貢献するための、2050年に向けた目標です。「① サーキュラー（循環）ビジネスの推進」、「② 持続可能な調達」、「③ 気候変動への対応」の3つのテーマに基づき、一丸となって目標達成に向けた取り組みを推進しています。



NITORI Group Green Vision 2050 目標と実績

テーマ	項目	2030年度目標(中期目標)	2050年度目標(長期目標)	2025年3月期	2026年3月期	
サーキュラー（循環）ビジネスの推進	環境配慮設計	●「お、ねだん以上。」を維持できる範囲で、環境配慮を前提とした商品開発を推進する	●「お、ねだん以上。」を維持しながら、環境配慮を前提とした商品開発100%をめざす	(算定中)	20.6%	販売したプライベートブランド商品のうち、ニトリグループの環境配慮設計の定義※1に当てはまる商品の重量の割合 ※1 経済産業省・環境省等の関係省庁による「資源有効利用・脱炭素化促進に関する各種指針」等の環境配慮設計に関するガイドラインの考え方を参考に、当社の事業特性及び製品特性を踏まえて独自に設定しています。
	パッケージの環境負荷低減素材への切り替え	●「お、ねだん以上。」を維持できる範囲で、商品のパッケージにおいて環境負荷低減素材※2への切り替えを推進する	●「お、ねだん以上。」を維持しながら、商品のパッケージにおいて環境負荷低減素材への切り替え100%をめざす	61.5% (初算定)	64.9%	パッケージを環境負荷低減素材に切り替えたプライベートブランド商品のアイテム数の割合 ※2 再生素材、再生可能素材、生分解素材、化石燃料未使用素材等。
	排出前 (分別して資源に) 廃棄物の削減・資源化	●廃棄物排出量50%以上削減をめざす (2018年度比 売上収益1億円あたり排出量)(国内)	●廃棄物排出量50%以上削減をめざす (2018年度比 売上収益1億円あたり排出量)(グローバル)	34.9%	34.3%	2018年度比の廃棄物排出量の削減量 詳細はこちら(▶P74)
		●回収した商品の資源化率100%をめざす (国内)	●回収した商品の資源化率100%をめざす (グローバル)	カーテン 98.7% タオル 100.0% 羽毛ふとん 79.3%	カーテン 97.2% タオル 99.6% 羽毛ふとん 78.8%	回収された商品のうち、リユース・リサイクルされた重量の割合
排出後 (埋め立てにまわさず資源化)		●産業廃棄物の資源化率95%以上をめざす (国内)	●廃棄物の資源化率100%をめざす (グローバル)	87.5%	89.0%	廃棄物のうち、埋め立てにまわさず資源化している重量の割合 詳細はこちら(▶P74)
持続可能な調達	森林破壊・人権侵害に関与しない原材料の調達	●持続可能な木材調達 環境・社会への配慮ができています 木材※3調達100%をめざす	●持続可能な木材調達 環境・社会への配慮ができています 木材調達100%をめざす(継続)	90.6%	91.7%	評価がレベルA※3のサプライヤーの木材調達量の割合 詳細はこちら(▶P21) ※3 FSC®・PEFC等による認証木材または認証木材以外で、トレーサビリティに加え、環境・社会に配慮した森林管理の適切性が検証済の木材
気候変動への対応	温室効果ガスを削減し、気候変動にポジティブに寄与	●温室効果ガス排出量50%削減をめざす (2013年度比 売上収益1億円あたり排出量)(スコープ1・2)	●カーボンニュートラル (スコープ1・2)	43.2%	45.4%	2013年度比のスコープ1・2の温室効果ガス排出量の削減量 詳細はこちら(▶P73)

2026年3月期における主な取り組み

2026年3月期の実績としては、新たに「環境配慮を前提とした商品開発」の目標について実績を算定しました。今後も、単なる数値目標の達成にとどまらず、持続可能な「暮らしの豊かさ」の実現に向けた施策を部署横断で推進し、定量的な進捗管理とともに、課題への柔軟な対応に取り組んでいきます。

温室効果ガス排出量削減への取り組み

太陽光発電の設置拠点の拡大に加え、外部から調達する電力においても「再生可能エネルギー電力メニュー」の導入を更に進めたことで、温室効果ガス排出量(総量)を前年比5.7%削減しました。また、ニトリやデコホーム等の店舗で、現場と本部一丸となって節電を推進し、大幅な削減を実現しました。

持続可能な木材調達の取り組み

昨年度より、改正クリーンウッド法への対応を含め、サプライヤーとの連携を強化した結果、持続可能な木材の調達比率は前年度比で1.1%向上しました。また、調達におけるリスク管理を更に強化するため、海外サプライヤーの協力のもと監査トライアルを実施する等、木材デューデリジェンス体制の構築を進めています。

産業廃棄物の資源化率向上への取り組み

廃棄物の資源化率については、物流拠点における分別の徹底や、資源化率の高い処理事業者との連携強化を進めたことで、前年度から1.5%向上しています。また、一貫通貫のビジネスモデルを活かし、商品開発段階から分解・分別しやすい設計に取り組み、資源循環の推進に努めています。

ニトリグループは、持続可能な「暮らしの豊かさ」の実現を目指します

限りある資源をつかってビジネスを行っている私たちだからこそ、お客様にとって、ニトリグループでのお買い物が環境負荷の低減につながると実感していただくこと、そして、それを誰もが手に取りやすい「お、ねだん以上。」の価格・品質を維持しながら実現することを目指します。